

令和5年度 技術移転に係る目利き人材育成プログラム 「起業環境整備支援コース」 タイムテーブル

起業環境整備支援コース

(注) 講師およびカリキュラムにつきましては、都合により一部変更する場合があります。

研修会場 : 科学技術振興機構 東京本部別館 2F会議室A (東京都千代田区五番町7 K's五番町) HP : <https://www.jst.go.jp/koutsu.html>

開催期間 : 20名

募集定員 : 令和5年11月15日(水)・16日(木)

(講師名: 敬称略)

課程・講師名	日程	会場	9:00		10:00		11:00		12:00		13:00		14:00		15:00		16:00		17:00	
			9:15	9:40	10:00	11:10	12:10	13:10	14:10	15:30	16:40	17:00								
A課程 大学発ベンチャーの創出プロセス 【開講挨拶】 小長谷 幸 科学技術振興機構 人財部 科学技術イノベーション人材育成室 室長 【講師】 近藤 昭彦 神戸大学 副学長 科学技術イノベーション研究科 教授 堤 孝志 スタートアップ・ブレイン株式会社 代表取締役 ※グループ討議担当講師 野口 義文 立命館大学 副学長 兼) 産学官連携戦略本部 副本部長 兼) 大学院キャリアパス推進室 室長 兼) 研究部 事務部長 須佐 太樹 HITSプロモーター合同会社 代表社員 ライラックファーマ株式会社 代表取締役 北海道大学 産学・地域協働推進機構 アドバイザー 古林 和典 株式会社DG TAKANO 事業開発担当 松橋 俊彦 情報通信研究機構 未来ICT研究所 脳情報通信融合研究センター マネージャー	11/15 (水)	JST 東京本部 別館2F 会議室A	受付	主催者 開講挨拶	趣旨説明・ 注意事項	【講義①】 研究者から見た ベンチャー創出のポイント 神戸大学 近藤 昭彦 遺伝子設計を含むゲノム編集・ケム合成・ハイオフアンドリ等の研究に従事しながら、大学発バイオベンチャーを創出し、研究成果の事業化にも積極的に取り組んできた研究者の視点から、ベンチャー創出に必要なプロセスなどを学ぶ。	休憩	【講義②】 ビジネスモデルの構築の基礎 スタートアップ・ブレイン 堤 孝志 顧客ニーズとのギャップに気付かなければ、どれだけ良い研究成果や技術でも売れないことがある。その悲劇を避けるために、仮説検証を繰り返しながら効率的に事業を立ち上げていくシリコンバレー生まれの事業化プログラム「リーンローンチッド」の考え方をダイジェストで学ぶ。	屋食休憩	【講義③】 ビジネスモデルの構築の基礎 スタートアップ・ブレイン 堤 孝志	【ワーク】 顧客価値シートの作成 堤 孝志 (野口・須佐・古林・松橋)	シート作成と講師のフォロー	【グループ討議】 提供価値と優位性の講義 堤 孝志 (野口・須佐・古林・松橋)	グループによる意見交換	休憩	ワークで作成した顧客価値シートを元に、他との差別化要素や提供価値についてグループ内で発表し、事業化で想定している製品やサービスの内容について意見交換を行う。意見交換により、社会ニーズハマッチできるようにフラッシュアップを図る。	振り返りシート記入・解散			

課程・講師名	日程	会場	9:00		10:00		11:00		12:00		13:00		14:00		15:00		16:00		17:00	
			9:15	9:30	11:10	12:10	13:10	16:30												
B課程 ベンチャーのビジネスモデル構築 【講師】 堤 孝志 スタートアップ・ブレイン株式会社 代表取締役 ※グループ討議担当講師 野口 義文 立命館大学 副学長 兼) 産学官連携戦略本部 副本部長 兼) 大学院キャリアパス推進室 室長 兼) 研究部 事務部長 須佐 太樹 HITSプロモーター合同会社 代表社員 ライラックファーマ株式会社 代表取締役 北海道大学 産学・地域協働推進機構 アドバイザー 古林 和典 株式会社DG TAKANO 事業開発担当 松橋 俊彦 情報通信研究機構 未来ICT研究所 脳情報通信融合研究センター マネージャー	11/16 (木)	JST 東京本部 別館2F 会議室A	受付		【講義】 ビジネスモデルの検討とアプローチ (BMCの作成・顧客発見手法) スタートアップ・ブレイン 堤 孝志	休憩	【ワーク】 BMC作成 堤 孝志 (野口・須佐・古林・松橋)	BMC作成と講師のフォロー	屋食休憩	【グループ討議】 ビジネスモデルの発表 意見交換 堤 孝志 (野口・須佐・古林・松橋)	グループによる意見交換	ワークで作成した顧客価値シートとBMCを使って、ビジネスモデルの仮説をグループ内で発表する。また、仮説に基づいた製品の機能や優位性、顧客、流通チャンネル、価格、需要開拓などの戦略についてグループ内で意見交換を行い、次のステップへの準備を整える。	振り返りシート記入・解散							

令和5年度 技術移転に係る自利き人材育成プログラム 「起業環境整備支援コース」 タイムテーブル

(注) 講師およびカリキュラムにつきましては、都合により一部変更する場合があります。

起業環境整備支援コース

研修会場 : 科学技術振興機構 東京本部別館 2F会議室A (東京都千代田区五番町4 K's五番町) HP : <https://www.jst.go.jp/koutsu.html>

開催期間 : 20名

募集定員 : 令和6年1月17日(水)・18日(木)

(講師名: 敬称略)

課程・講師名	日程	会場	9:00		10:00		11:00		12:00		13:00		14:00		15:00		16:00		17:00		
			9:15	9:45	10:00	11:30	11:40	12:40	13:30	15:00	16:00	17:00									
C課程 事業計画と知財戦略	1/17 (水)	JST 東京本部 別館2F 会議室A	受 付	趣 旨 説 明 ・ 注 意 事 項	【講義①】 コア技術を支える知財戦略の検討 法律事務所amaneku 山本 飛翔				【講義②】 効果的な知財戦略と ベンチャーの事業推進 株式会社FLOSFIA 人羅 俊実				【講義③】 ベンチャーと資金調達 情報通信研究機構 松橋 俊彦				【グループ討議】 知財戦略を踏まえた事業計画の検討① (野口・須佐・古林・松橋)				振 り 返 り シ ー ト 記 入 ・ 解 散
【講師】 山本 飛翔 法律事務所amaneku 代表弁護士・弁理士 人羅 俊実 株式会社FLOSFIA 代表取締役 松橋 俊彦 情報通信研究機構 未来ICT研究所 脳情報通信融合研究センター マネージャー ※グループ討議担当講師 野口 義文 立命館大学 副学長 兼) 産学官連携戦略本部 副本部長 兼) 大学院キャリアパス推進室 室長 兼) 研究部 事務部長 須佐 太樹 HITSプロモーター合同会社 代表社員 ライラックファーマ株式会社 代表取締役 北海道大学 産学・地域協働推進機構 アドバイザー 古林 和典 株式会社DG TAKANO 事業開発担当 松橋 俊彦 情報通信研究機構 未来ICT研究所 脳情報通信融合研究センター マネージャー					大学発ベンチャーの事業化を目指す上では、コア技術の特許出願で、より広い権利を取得できる可能性が高まる。しかし、知財戦略を怠ったがために、起業後に獲得できたはずの市場を逃してしまうこともある。特許の観点から分析し、事業競争力の維持や価値を向上させる知財戦略を検討するための知識とスキルを身につける。	ベンチャーの事業計画と知財戦略の考え方等について、経験者であるベンチャーの創業者から学ぶ。大学発ベンチャーが取り組むべき知財戦略の在り方や検討事項を把握し、事業計画について深く考える。	ベンチャーの資金調達のための基礎知識を学ぶ。いわゆる魔の川や死の谷と呼ばれるような障壁を越えるため、ギャップファンドの活用についても理解し、事業化を進める手立てを把握する。	研究成果型の大学発ベンチャーにおける事業戦略について意見交換する。事前課題で検討した技術シーズを分析したうえで、知財ポートフォリオの構成や戦略的な特許出願を検討し、競合他社を寄せ付けない排他力を生むための戦略や優先度の検討についてファシリテートのグループ討議講師、グループメンバーと共に議論する。													

課程・講師名	日程	会場	9:00		10:00		11:00		12:00		13:00		14:00		15:00		16:00		17:00	
			9:15	9:30	11:10	12:10	13:10	16:30												
D課程 必要な資本政策と投資家へのアプローチ	1/18 (木)	JST 東京本部 別館2F 会議室A	受 付	休 息	【講義①】 投資ファンドから見た 資本政策 元 株式会社INCJ 服部 健一				【講義②】 ベンチャーの 戦略と支援 QBキャピタル合同会社 坂本 剛				【グループ討議】 知財戦略を踏まえた事業計画の検討② (野口・須佐・古林・松橋)				振 り 返 り シ ー ト 記 入 ・ 解 散			
【講師】 服部 健一 元 株式会社INCJ ベンチャー・グロース投資グループ マネージングディレクター 坂本 剛 QBキャピタル合同会社 代表パートナー ※グループ討議担当講師 野口 義文 立命館大学 副学長 兼) 産学官連携戦略本部 副本部長 兼) 大学院キャリアパス推進室 室長 兼) 研究部 事務部長 須佐 太樹 HITSプロモーター合同会社 代表社員 ライラックファーマ株式会社 代表取締役 北海道大学 産学・地域協働推進機構 アドバイザー 古林 和典 株式会社DG TAKANO 事業開発担当 松橋 俊彦 情報通信研究機構 未来ICT研究所 脳情報通信融合研究センター マネージャー					大学発ベンチャーの資本政策のケースを通じて問題点や課題について理解する。資本政策を検討する上での基本的な事項と留意点について学ぶとともに、新たな価値を創出するベンチャーへの投資ファンドの視点を認識し、今後の投資誘引への活動に繋げていく。	研究開発型のテクノロジーベンチャーへの投資を行っているQBキャピタルの取り組みについて学ぶ。出資先の事例やコア技術に対する自利きの視点を知り、投資家のベンチャーに対する期待や推進できる支援体制などについて理解を深める。	第5回に続いて、知財ポートフォリオの構成や戦略的な特許出願について議論し、投資家から見た魅力度の向上を図る。事業を進展するうえで欠かせない研究成果や技術についてどのように守りながら事業展開するかを考え、事業計画について発表してグループ討議講師、グループメンバーと共に議論する。													